

長野市・横浜ウォーター株式会社・長野県立大学 協働プロジェクト
「長野市の水循環や水道の将来のために
今必要なことを考える取り組み」を開始

長野県立大学は、長野市上下水道局・横浜ウォーター株式会社とともに、「フューチャー・デザイン」を用いて長野市の水循環や水道の将来のために「今、必要なこと」を本学の講義である「キュレーター概論」において学生とともに考えます。

この取り組みは、国土交通省の啓発事業（受託・横浜ウォーター株式会社：若年層が将来あるべき水道のあり方について検討を行い、同世代に向けてメッセージを作成する啓発事業）の一環として実施します。

1 プロジェクト概要

本プロジェクトでは、秋葉芳江教授によるグローバルマネジメント学部の講義「キュレーター概論」において、長野市内の上下水道施設の見学やメタバース環境上でのライブ説明会等による事前学習したうえで、未来志向で社会課題の解決を目指す「フューチャー・デザイン」を基に長野市の水循環や水道の将来のために今必要なことを議論します。

また、九州大学の岡本准教授による専門的なアドバイスを得る機会を設けています。

2 日時・場所

講義「キュレーター概論」において受講生らが上記の議論を行います。

日時：2025年1月8日（水） 午前10時40分から12時20分

場所：長野県立大学三輪キャンパス

※上下水道施設見学は2024年12月14日に実施済みです。メタバース環境上での事前学習は授業終了時まで実施予定です。

3 取材申込

報道機関の方で取材を希望される場合、下記連絡先まで電子メール等によりお申込みください。